

# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名	オリジン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ORIGIN**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

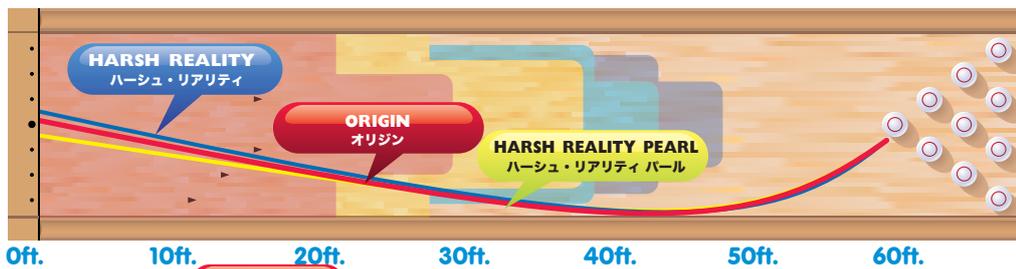
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：HARSH REALITY/HARSH REALITY PEARL**

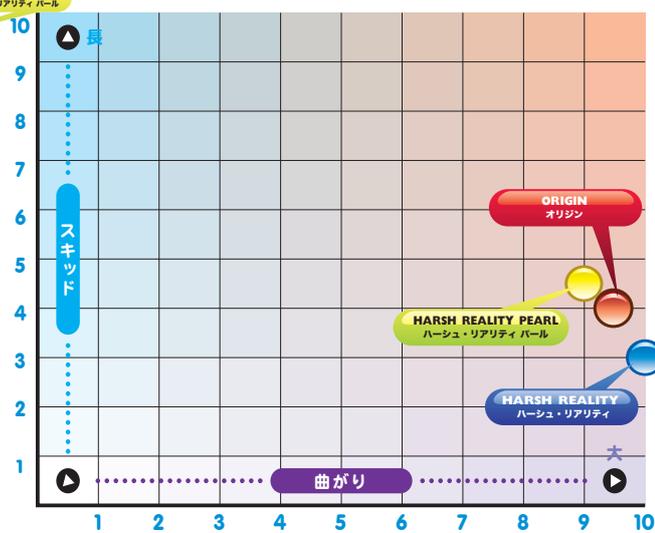
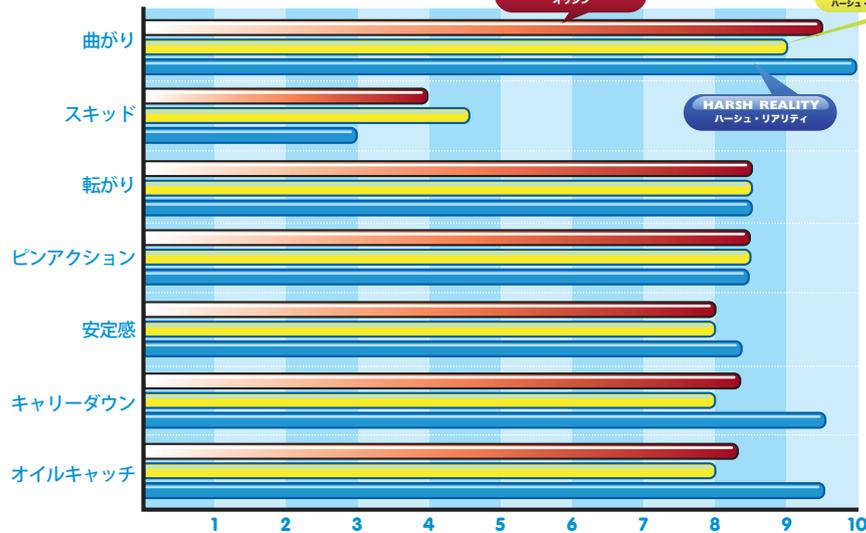
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

## ボールの評価

900Globalのヘビーオイル用カバーとして搭載されるリザーブブレンド900シリーズ。代表作はREALITYシリーズで、HARSH REALITYやHARSH REALITY PEARLが属します。NEWシリーズを発売するにあたり、まずはそのヘビーオイル対応領域の900シリーズに新たな息吹を注ぎ込むことをコンセプトに、100%ナノベースの”RB 93”(Reserve Blend 903)カバーストックを開発しました。このカバーストックはHARSH REALITYの902 SolidとHARSH REALITY PEARLの902 Pearlの間を埋める、キャッチとバックエンドの動き双方を兼ね備える素材で、オイル上の安定感とバックエンドの反応性の高いリアクションは、まさに次世代のキャッチと動きの連動と言えます。このボールに”ORIGIN”というネーミングを付けた由来は、”次世代”の始まりの性能であり、900Globalが長年追い求め開発し続けた結果の象徴であり、高いレベルの仕上がりだからとも言えます。そして新たに”パワーエッジ仕上げ”という表面仕上げも導入されています。特徴的なやや光沢のあるBoxフィニッシュで、サンディングのような滑りを感じさせないオイル上の安定感と、ポリッシュ仕上げのようなオイルゾーンを抜けてからの反応の良さが表れていて、私の知る限り900Globalの最高峰であり、オイルが多いコンディションで少し曇ったボールを投げたくなるブレーキのかかり辛いラインでも、十分ORIGINを投球することができます。こういうボールはボウラーには必需品で、使用できるコンディションの広さと”噛みすぎない””滑り過ぎない”ことを最小限に収め、しっかりと軸移動してフィニッシュするカバーストックとコアのマッチングはORIGINの特徴と言えるでしょう。その軸移動の立役者は新開発エリプスA.1コアで、ウエイトブロックをトップからボトムまで均等に配分させ、安定した強いトルクを実現しています。Y軸とZ軸を中心とした大きな楕円が、特徴ある非対称性を感じさせます。

## 特記事項

**ORIGINは次世代を見据えた903Hybridカバーストック、エリプスA.1コア、パワーエッジ仕上げの3つのカテゴリから成り立っており、900Globalの技術の結晶と言えるでしょう。**